

特集



# みんな行こうよ、ごはんを食べに!



いま、日本中に、子どもだけでもごはんを食べに行ける所ができてるって知ってた? 粕江市にも、いくつもあるよ。ひとりで行ってほしいよ。出来立てホカホカの手作りごはんを、みんなで「いただきます」しよう! レストランとはちょっと違う。

ごはんを食べたり・遊んだり・おしゃべりしたり。学校の先生や家族以外の大人と話せるし、キミの「もうひとつの場所」になるかも。



昨今全国的に広まっている「子ども食堂」。粕江市でも、「子ども食堂」と同様に、ごはんと居場所を提供する団体が、この2年でいくつも生まれています。ごはんを通じて子ども達を包む居場所がどんなところか、ご紹介します。お客さんとして行ってみたいお子さん・親御さん、お手伝いしてみたい方、自分もこんな居場所を作りたいとお考えの方... この特集が、あなたのきっかけになりますように。

## こども座談会

行ったことのある子供たちに聞いてみたよ!



### 「学校の給食と違うところは?」

「学校や家では出ないものがある。料理のお手伝いが出来る。」  
「学年や学校の違う人と話せる。」  
「料理をしているところが見える。」



### 「こうしたら良いのにな、こんなことしたいなと思うことはある?」

「ごはんを食べたあとにお菓子も食べたい。」  
「赤肉メロンとアイス食べたい。」  
「高級ぶどう!」  
「家に近いところでやって欲しい。歩いて行けるくらいのところ。」  
「ボードゲームとかトランプをやりたい。」  
「自分たちでごはんを作りたい。」

「料理だけじゃなくて、お菓子を作る時もあったらいいな。」  
「クリスマスとか誕生日の人がいたらパーティーやりたい。」  
「自分たちで料理を作りたい? 作るとしたら、どんなメニューにする?」  
「やる! ごはん作って大人の人に食べてもらいたい。」  
「やりたい! ハンバーグとかどう?」  
「エビフライは?」  
「揚げ物は怖いじゃん。危ないし。」  
「オムライス!」「カレーライス!」  
「カレーなら作れそう。」  
「お母さんとか大人の人に食べてもらいたいな。」  
「いいね!」「やりたーい!」



## よしくん・りゅうくんがレポートするよ

## ぼくたちが、ごはんを食べに行ってみた!

「みんなの居場所」  
リポーター: よしくん



この日のごはんは、サゲのちらしずしだったけど、ごはん人気はたまきずしなんだって。ごはんを食べるだけじゃなくて、おそろいながらぞうきんにしゅうをしたり、マンガをよめたりするよ。ちかくのプレーパークにも行けるよ。ぼくはマジックをおしえてもらえた。はじめて行ったけど、スタッフの人たちがやさしくて、たのしい、のんびりできるところだったよ。また行きたいな。

「粕江子ども食堂」  
リポーター: りゅうくん



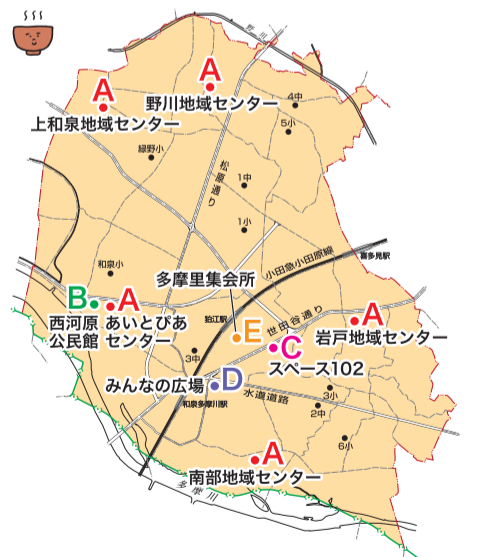
なんて、みんなでしょろろ作ったよ。大人もお中になるほど楽しくて、思ったよりかんたんだったよ。この日のメニューは、ろじゅるりのおにぎり、みそ汁、春まきバナナ、フド炊くりなど。ぼくはおにぎり5つ食べた。春まきバナナは、おゆてあって、パリッパリの皮の中に、トロットロのバナナが入っていてサイコーだったよ。いろんな学年の子と、大人と、たれもがくちや来るところだったよ。



市内で食べたり・遊んだり・ゆっくりできる所を開いている団体を5つ紹介するよ。子どもだけで行く時は、おうちのひとに伝えてから行こうね。

### 団体一覧表

地図A~E	A	B	C	D	E
団体の名前	NPO法人 粕江子ども食堂	みんなの居場所	こどもの多摩里食堂	ごはん+居場所 おかえり	月末食堂
おもな会場	上和泉地域センター 各地域センター	西河原公民館	多摩里集会所 (東和泉2-9-11)	みんなの広場 (東和泉2-20-12-1F)	スペース102 (東和泉1-32-3-102)
おもな開催日	月に2~4回 土日のお昼 平日の夕方	毎月第2土曜日 10時~16時	毎月第2木曜日 16時~18時半	毎月第4土曜日 12時~15時	月末の前日 16時~19時
ごはん代	無料	子ども無料/ 大人¥300	子ども¥100/ 大人¥500	子ども無料/ 大人¥300	子ども・困窮者 無料(カンパ¥300)
予約	不要	不要	要予約 (前日までに)	不要	不要
連絡先	市川 090-1766-6992	松崎 090-6197-6678	西尾 090-5527-3132	宮川 090-1208-3823	市原 090-1803-8319



## 子どもたちのもう一つの場所

一緒にご飯を食べる。一緒におしゃべりする。一緒に笑って過ごす。違う学校の子も初めて会った子どもご飯を囲めば自然と話が弾みます。学校とも家庭とも違う、もう一つの場所。

そんな場所が粕江市内に増えてきています。今回、子どもたちの協力のもと座談会を開催しました。大人たちが思うより、子どもたちは自分たちの楽しむ世界を作り上げていきます。そしてただ受け身でいることよりも、自分たちで何かをやりたい、役に立ちたいという意思を強く持っていることに驚きました。そして子どもたちからの要望に一番多く挙がった

のが、家の近くにいつでも行ける所が欲しいということでした。地域で子どもの居場所が増えることで、人と人との絆も生まれてくると思います。百聞は一見にしかずという言葉があるように、一度足を運ばれてみてはいかがでしょうか?

